

あなたにベストな 資料探**索**法、 教えます!



変化する時代とともに

図書館長 石井 晋

数ヶ月前、私は、タブレットで英語の電子ブックを読み上げてくれる機能が、かなり実用的なことに気づき、使い始めました。機械的な声ですが、英文をかなりスムーズに読み上げてくれるので、食事や筋トレをしながら本を読む(聞く)ことができ、とても便利です。今のところ、日本語対応は無理なようですが、いずれ可能になるでしょう。

今、私たちの読書環境はIT技術によって多様化しています。ただ、それでも純粋にじっくり本を読むとなると、昔ながらの紙の本がいぜんとしてベストだと思います。前のページを読み返すのが便利、書かれているページが常に固定している、斜め読みがしやすい、知り合いに本を貸しやすい…。IT技術が進歩すれば、紙の本の利点を超えられるのでしょうか？今のところ想像もつきません。

図書館も、技術進歩とともに少しずつ変わっています。今後、電子ブック化は着実に進展していくことでしょう。ただ、それでも紙の本が大量に所蔵され、背表紙を見て、手に取ってパラパラとめくることができるという、図書館の昔ながらの基本はずっと維持され続けるような気がします。

学習院大学図書館の建物は、かつての東京オリンピックの頃に建てられたので、かなり古くなりました。一方で図書館サービスのIT化は着実に進んでいます。変わりつつあるものと変わらないもの。変えるべきものと変えてはならないもの。ぜひ、図書館に足を運んで、思いをめぐらせてください。

資料探し、スタート!

- OPAC(資料検索システム:詳細は裏面へ)で検索
- 図書館に行って本棚からさがす

見つからない...

見つかった!

本を借りる

配置場所が【開架】
→自動貸出機

配置場所が【書庫】
→カウンターに請求
(請求記号を伝える)

理由①
検索しても
借りたい本が
上手く出てこない

理由②
そもそも
検索のしかた、
調べ方が
わからない

理由③
借りたい本が
学内にない

今、学内または
図書館にいる

レポート提出まで
時間に余裕がある

② HPから最強のガイドブックを入手

⑤ ネットで質問

本の入手方法を
直接相談したい

自分1人の力で
がんばってみたい

体系的に
調べ方を
知りたい

平日16:30まで、
土曜12:20までに
図書館に行く時間がある

① 図書館で
最強のガイドブックを入手

③ 2F レファレンスカウンター

④ データベースセミナー

レポート提出まで
時間に余裕がある

入手方法を
直接相談したい

入手方法を
自分で調べた上で
利用するかどう
かよく考えたい

学外の資料を利用する方法はいくつかありますので、かかる時間や費用に応じて、利用手段を自分で選ぶ必要があります

最強のガイドブック
P18-19

① 最強のガイドブック

レポートや卒論の情報収集が上手いかわからないあなたには、「最強のガイドブック」13分でわかるレポート材料の集め方」を手にとることをおすすめします。全頁カラーでボリュームも少なく、短時間で情報収集のコツが掴めるこのガイドブックを是非ご活用ください。

② HPから最強のガイドブックを入手

大学図書館Webサイトでは、「最強のガイドブック」の全文を入手できます(PDF)。

右のQRコードからアクセスしてみてください。

③ 2Fレファレンスカウンター

大学図書館2階カウンターでは、学習・研究・調査をする上で必要な資料や情報を探お手伝いをしています。

[2階レファレンス・カウンター サービス時間]
平日:9:00~16:30 (11:30~12:30は除く)
土曜:9:00~12:20

④ データベースセミナー

大学図書館では、6月と10月にデータベースセミナーを実施しています。約2週間の期間の中で、1回30分から1時間で図書館スタッフがテーマごとに情報収集の方法を説明します。

<昨年度の実施内容>
A: Wikiだけじゃない! ネット情報の見極め方
B: レポートテーマに合った本を効率よく探そう!
C: 本だけじゃない! 日本語論文の探し方
D: 日本語だけじゃない! 外国語論文の探し方
E: 効率よく新聞記事を探そう!

⑤ ネットで質問

オンラインでもレファレンスの質問を受け付けています。質問したいことがあるけれど、図書館に行く時間がない方、是非ご利用ください。

GLIM/OPACのメニューバー「お問い合わせ」からご利用いただけます。

4月よりOPAC画面の変更を予定しているため、一部画面が異なる場合があります。

GLIM/OPACが変わりました!

GLIM/OPACが全面リニューアルとなりました!
デザインが大幅に変わり、全体的に見やすく使いやすいように生まれ変わっています。

検索結果の一覧性が高く、絞り込み検索がボタン一つで簡単にできるなどとても便利になりました。

また、GLIM/OPACの同じ画面から、電子ジャーナルやデジタルライブラリーの検索もできるようになり、さまざまな情報に一度にアクセスすることが可能となりました。

ぐんと便利になったGLIM/OPACをどうぞご利用ください。



2つの限界

法学部法学科
准教授
長戸 貴之先生

研究者の共通の悩みであろうと思われるのが、研究室の本棚のスペースには物理的な限界がある、という点ではないかと思います。まだ研究経歴の浅い私でも、数年後には到来するであろう本棚の限界を見据え、何か工夫をしなければと思案しています。書籍やコピーした論文をせっせと電子化するという方向で対応したいのですが、書籍の裁断には心理的にどうにも踏み切れず、かといって外国語の文献はとまかく日本語の文献はまだまだ電子書籍が少ない。何よりも、電子書籍だと頭に入ってこないし、頁めくりも遅く感じてしまう。また、本棚の蔵書の並びから研究の着想を得るということもありません。



本棚は二層構造で裏側にもたくさん本を置けます。



アメリカの租税法令集。場所をとるので最近ではweb上のものを使っています。

物理的な本棚の限界の存在と同時に気づいてしまうのが、(こちらは私だけかもしれませんが)自分の頭の中のスペースにも限界がある、という点です。勉強を積み重ねた結果だと信じたいのですが、どこに書いてあったかがスムーズに思い出せず、本棚をひっくり返すのに苦労する。そんなときは、今度は逆に蔵書を電子化してOCRをかければ容易に該当箇所に通り返ります。

2つの限界と日々格闘しながら、結局は気になる文献は紙でも電子書籍でも買い漁る、というのが今後の方針となりそうです。問題は何も解決しないのですが。

来ぶらり No.106 2018年4月2日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者：石井晋教授 編集委員：内藤沙織・藤本智美

1階貸出・返却カウンター (内線 2397) : ☎ 03-5992-1009 (直通) 2階レファレンスカウンター (内線 2395・2396) : ☎ 03-5992-9249 (直通)

「来ぶらり」のバックナンバーは (<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>) で公開しています。

ISSN 2186-6724